



平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄

コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平 辰

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理統括本部長

(氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日

平成25年5月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関、機関投資家、アナリスト、マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	38,546	△1.5	594	△41.4	535	△40.3	48	△92.1
24年8月期第2四半期	39,114	△3.6	1,014	—	898	—	620	—

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 67百万円 (△89.0%) 24年8月期第2四半期 615百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	2.37	—
24年8月期第2四半期	30.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期第2四半期	48,488	26,299	54.0	1,264.75
24年8月期	50,547	26,397	52.0	1,269.60

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 26,160百万円 24年8月期 26,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	5.00	—	8.00	13.00
25年8月期	—	6.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,600	△0.5	1,800	△19.3	1,700	△17.4	525	△40.6	25.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページの「2.サマリー情報（注記事項）」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年8月期2Q	21,198,962 株	24年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	25年8月期2Q	514,388 株	24年8月期	514,388 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年8月期2Q	20,684,574 株	24年8月期2Q	20,160,486 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）におけるわが国経済は、欧州財政危機の長期化やアジア経済の成長鈍化に端を発した世界経済の減速や円高継続による輸出不振などが懸念材料となっておりましたが、12月の政権交代以降は、金融緩和政策に対する期待などにより急速な円安が進み、株価も急上昇するなど、消費者や企業のマインドも確実に改善傾向を示し、景気回復の期待感が高まる状況下で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業での収益力の安定基盤づくり」を最重要経営課題として認識し、昼営業の強化、旬・鮮度などにこだわった食材やイベント企画の充実、「Q. S. C（クオリティ、サービス、クレンリネス）」のレベルアップ、「お客様満足度の向上」に向けた社員教育の強化・徹底など、既存店対策を中心に様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開においては、当社グループで新規出店を5店舗、店舗改装（業態転換を含む）を4店舗、店舗閉鎖を5店舗で行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1.5%減少の38,546百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高が対前年比97.8%と減少したことが影響し、売上高は前年同期に比べ2.3%減少の33,502百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社のグループ外部取引先への売上が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ10.5%増加の1,894百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃借店舗物件の転貸が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.0%増加の478百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.3%減少の191百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ1.8%増加の2,480百万円となりました。

一方、利益面につきましては、売上高減少により売上総利益が減少したことが大きく影響し、営業利益は594百万円（前年同期比41.4%減）、経常利益は535百万円（同40.3%減）となりました。

また、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の増加要因も加わったため、四半期純利益は48百万円（同92.1%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は14,345百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,264百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,117百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は34,143百万円となり、前連結会計年度末に比べて794百万円減少となりました。これは、減価償却が進んだこと等により有形固定資産残高が559百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は11,839百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,454百万円減少となりました。これは、短期借入金や1年内返済予定の長期借入金が482百万円減少したこと及び未払金が251百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は10,349百万円となり、前連結会計年度末に比べて505百万円減少となりました。これは、長期借入金が419百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は26,299百万円となり、前連結会計年度末に比べて98百万円減少となりました。これは、配当金の支払い等により利益剰余金が116百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,161百万円減少の10,143百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,034百万円の資金収入（前年同期は1,793百万円の資金収入）となりました。収入の主な内訳は減価償却費1,130百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、542百万円の資金支出（前年同期は38百万円の資金収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出521百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,653百万円の資金支出（前年同期は140百万円の資金収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,111百万円及び社債の償還による支出587百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月15日に公表した業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,339	10,221
売掛金	2,410	2,261
商品及び製品	444	461
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	184	191
繰延税金資産	554	572
その他	957	935
貸倒引当金	△281	△298
流動資産合計	15,609	14,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,527	7,913
機械装置及び運搬具（純額）	285	310
工具、器具及び備品（純額）	748	730
土地	9,256	9,256
リース資産（純額）	1,451	1,479
建設仮勘定	18	37
有形固定資産合計	20,288	19,728
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	27	20
その他	174	169
無形固定資産合計	1,114	1,102
投資その他の資産		
投資有価証券	167	193
出資金	6	6
長期貸付金	49	40
差入保証金	7,447	7,378
敷金	4,396	4,373
繰延税金資産	1,266	1,123
その他	414	409
貸倒引当金	△215	△213
投資その他の資産合計	13,534	13,312
固定資産合計	34,937	34,143
資産合計	50,547	48,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 8 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 2 月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,414	2,115
短期借入金	3,265	2,975
1年内返済予定の長期借入金	2,004	1,811
1年内償還予定の社債	675	460
リース債務	543	596
未払金	2,729	2,477
未払法人税等	345	258
未払消費税等	368	215
賞与引当金	234	226
株主優待引当金	95	93
店舗閉鎖損失引当金	29	23
訴訟損失引当金	78	78
資産除去債務	16	0
その他	494	507
流動負債合計	13,294	11,839
固定負債		
社債	3,732	3,660
長期借入金	2,618	2,199
リース債務	1,067	995
退職給付引当金	1,219	1,244
役員退職慰労引当金	504	528
受入保証金	555	554
資産除去債務	1,143	1,159
その他	12	6
固定負債合計	10,855	10,349
負債合計	24,149	22,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	8,704	8,587
自己株式	△602	△602
株主資本合計	26,636	26,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	77
土地再評価差額金	△436	△436
その他の包括利益累計額合計	△375	△359
少数株主持分	136	138
純資産合計	26,397	26,299
負債純資産合計	50,547	48,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	39,114	38,546
売上原価	13,825	13,994
売上総利益	25,289	24,552
販売費及び一般管理費	24,274	23,957
営業利益	1,014	594
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	3
その他	49	44
営業外収益合計	52	48
営業外費用		
支払利息	87	70
貸倒引当金繰入額	2	0
その他	78	36
営業外費用合計	169	106
経常利益	898	535
特別利益		
固定資産売却益	5	—
受取補償金	108	—
特別利益合計	114	—
特別損失		
固定資産売却損	4	7
固定資産除却損	72	44
店舗関係整理損	38	8
減損損失	202	136
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	2
特別損失合計	317	199
税金等調整前四半期純利益	694	336
法人税、住民税及び事業税	150	169
法人税等調整額	△62	115
法人税等合計	87	284
少数株主損益調整前四半期純利益	606	51
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△13	2
四半期純利益	620	48

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益	606	51
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	16
その他の包括利益合計	9	16
四半期包括利益	615	67
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	629	65
少数株主に係る四半期包括利益	△13	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	694	336
減価償却費	1,305	1,130
減損損失	202	136
受取利息及び受取配当金	△2	△3
支払利息	87	70
固定資産除却損	72	44
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△17	149
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5	△23
仕入債務の増減額 (△は減少)	△292	△299
未払消費税等の増減額 (△は減少)	104	△152
その他	△128	△53
小計	2,019	1,343
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△87	△71
法人税等の支払額	△159	△248
法人税等の還付額	16	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,793	1,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△503	△521
貸付けによる支出	△4	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△3	△6
敷金及び保証金の回収による収入	745	56
その他	△194	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	△542
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	△290
長期借入れによる収入	580	500
長期借入金の返済による支出	△1,235	△1,111
社債の発行による収入	591	295
社債の償還による支出	△27	△587
自己株式の処分による収入	605	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△121	△165
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△270	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	140	△1,653
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,971	△1,161
現金及び現金同等物の期首残高	8,425	11,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,396	10,143

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年９月１日 至 平成24年２月29日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,306	1,714	455	202	36,678	2,436	39,114	—	39,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	5,802	261	—	6,070	535	6,606	△6,606	—
計	34,313	7,517	716	202	42,749	2,971	45,721	△6,606	39,114
セグメント利益	1,486	358	121	160	2,127	19	2,146	△1,132	1,014

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,132百万円には、セグメント間の取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,137百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間において152百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、所有不動産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間において46百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	33,502	1,894	478	191	36,066	2,480	38,546	—	38,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	5,589	299	—	5,902	517	6,420	△6,420	—
計	33,515	7,484	777	191	41,968	2,998	44,967	△6,420	38,546
セグメント利益	990	400	146	147	1,684	19	1,703	△1,109	594

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,109百万円には、セグメント間の取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,111百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において136百万円であります。

以上